

黒田電気グループ
中期経営計画



KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

黒田電気株式会社
取締役 代表執行役社長
金子 孝



中期経営ビジョン

事業方針



サービスを適時的確に提供し、顧客の価値創造と業界発展に寄与していく。その活動を通じ、社会に信頼される価値の高い企業を目指す

中期経営方針



1. 地域・事業領域の拡大、売上高1000億プラスを目指す
2. 商社機能は生かしつつ、製造比率を高める
3. グローバル化の推進

重点戦略



1. 海外事業の拡大
2. 戦略的投資
3. グローバル事業展開強化
4. グループ経営強化

あるべき姿

2008/3～2010/3

2011/3～2013/3

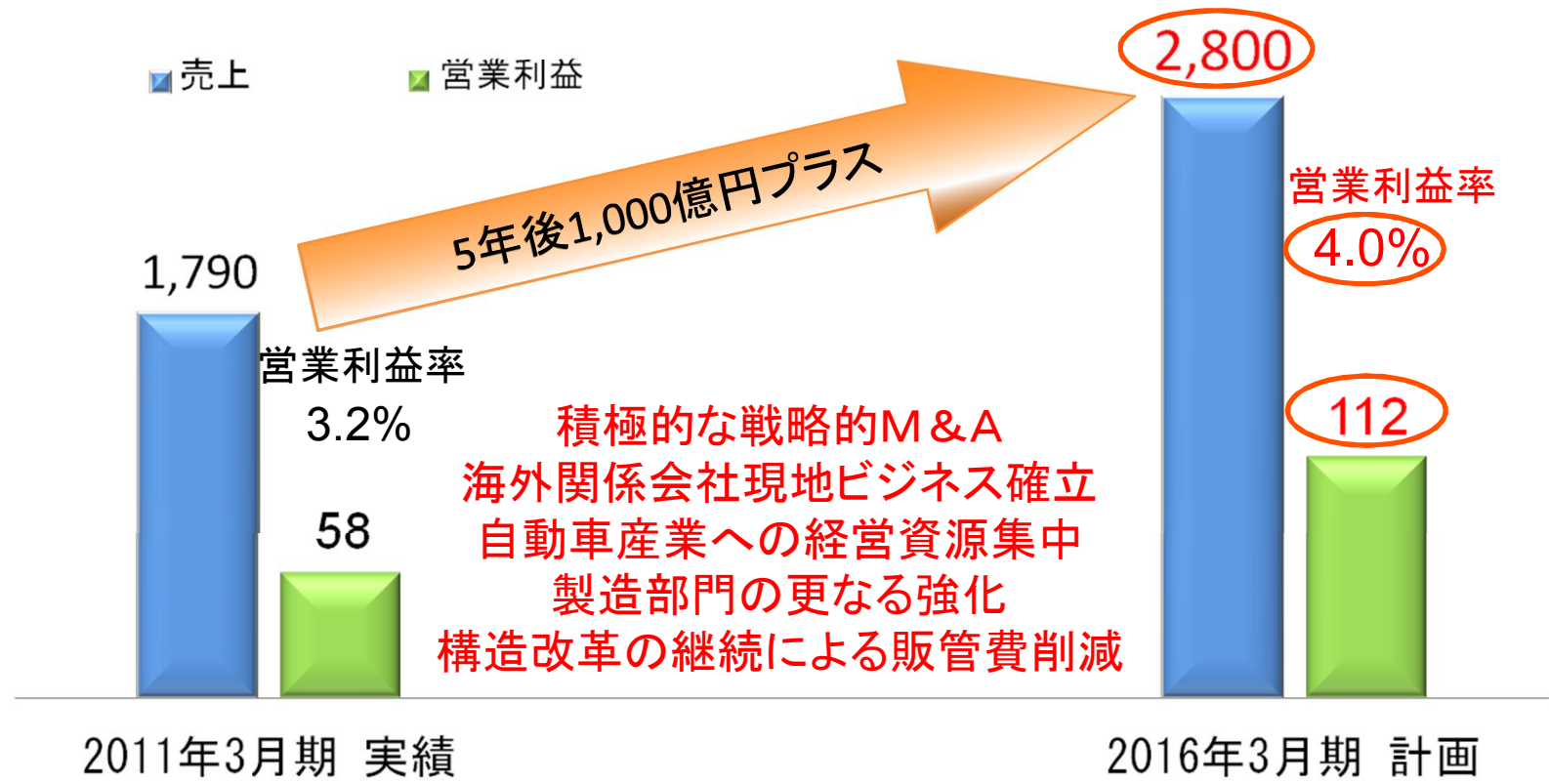
2014/3～2016/3

企業体質強化
企業価値向上

グループ経営の強化
戦略的投資による収益源の拡大

真のグローバル企業

売上高 2,800億円
営業利益 112億円

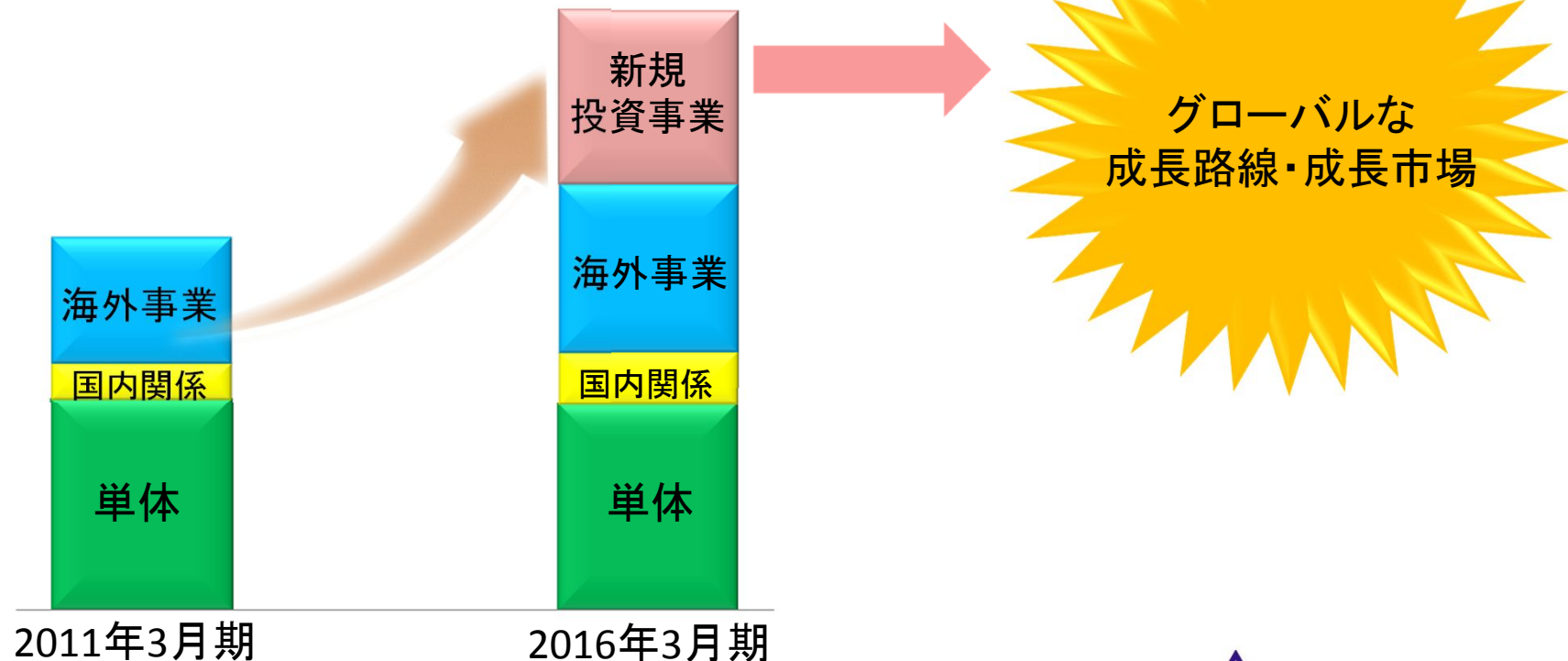


目標達成のシナリオ

変革と飛躍の元年
収益・成長企業体の構築

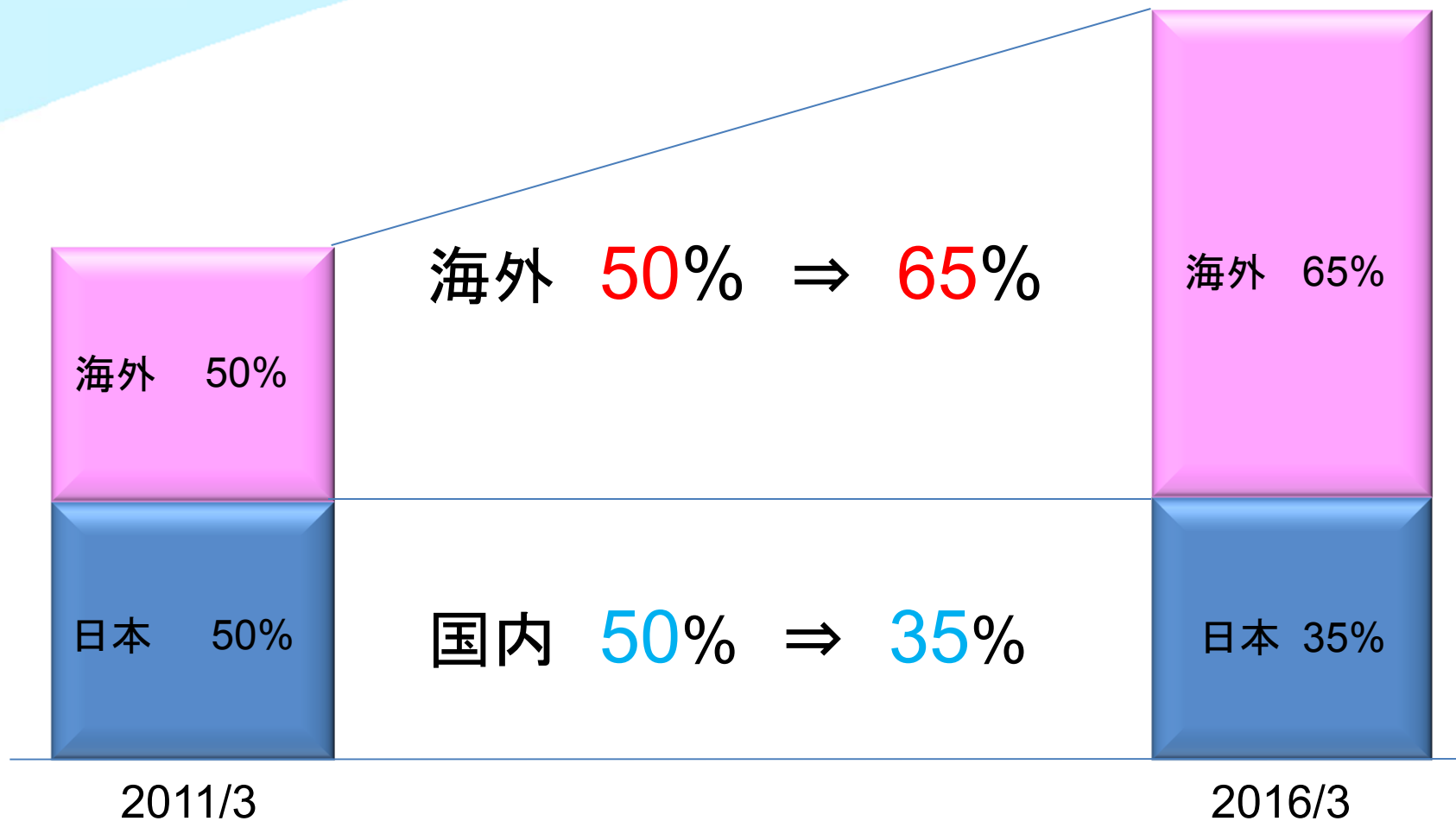
積極的な
グローバル投資

地域・事業領域の拡大
継続的な成長



エリア別比率

売上高構成比率は海外が拡大

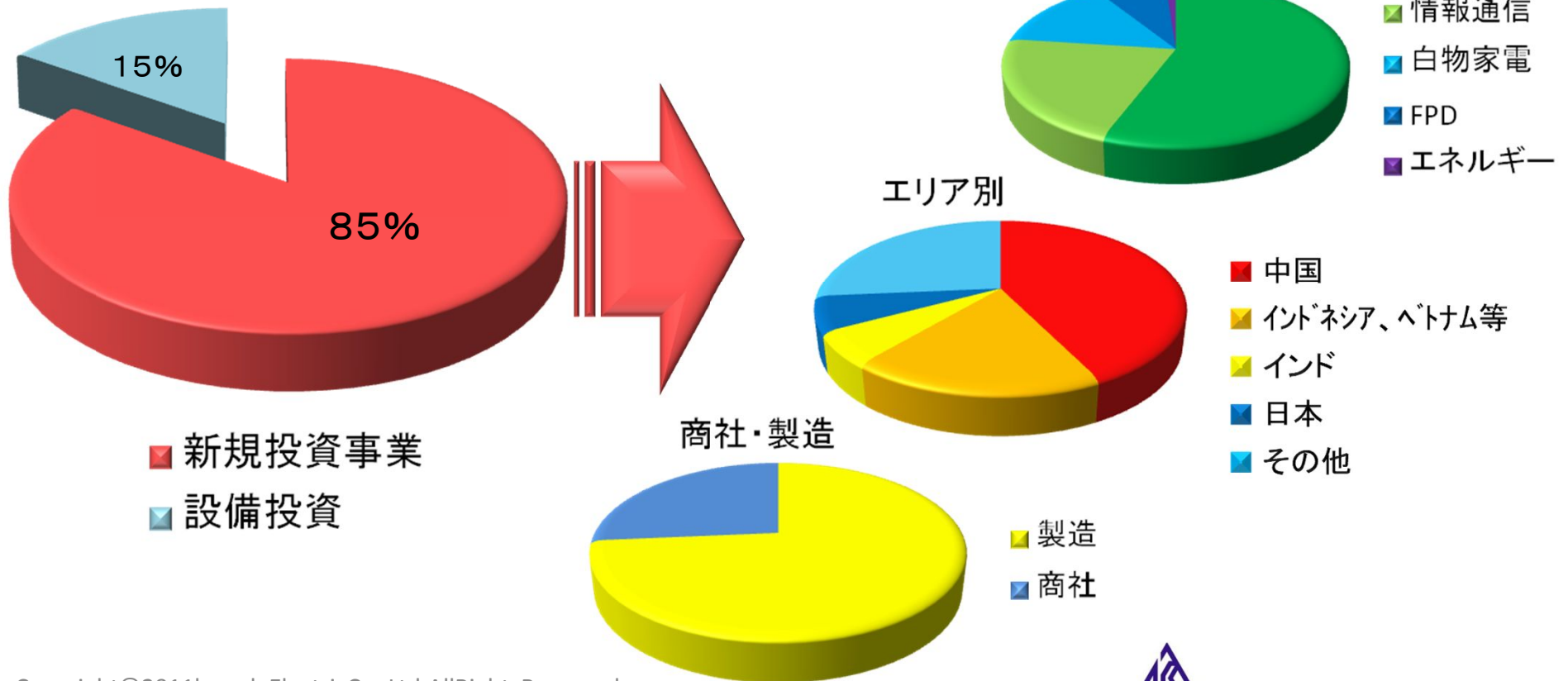


投資計画

黒田グループ投資方針

1. 財務の健全性を基本とし、戦略地域・分野に対する投資を行う
2. グローバル事業と収益源の拡大を図る

過去最大の戦略的投資



経営基盤の強化

【構造改革の継続とグローバル化への対応】

◆ 利益構造の改革

- ・高付加価値商品の取り込みとグローバル地域戦略による製造部門の強化
- ・グループシナジーの形成による利益創出

◆ 経費削減策の継続

- ・原価力、競争力UPの為の全ての経費の見直しと適正化を推進する

◆ グローバル化への対応

グローバル人財対応

- ・国内・国外での「採用」
- ・適正な「教育・配置・評価・登用」の制度の定着

グローバル管理体制

- ・新基幹システムの導入・活用
- ・効率経営の為の管理体制確立

黒田電気のCSR活動

黒田電気株式会社 企業理念・社是・綱領

黒田電気のDNA

国連グローバル・コンパクト

2011年3月2日に正式加入

国連グローバル・コンパクトの10原則
ミレニアム開発目標(MDGs)

CSR活動の基軸

MDG7: 環境の持続可能性を確保

MDG2: 普遍的な初等教育の達成

CSR活動の2本柱

環境貢献活動

企業の森・黒田電気(青梅)
企業の森・黒田電気(川西市黒川)

教育支援活動

タイ国のバン・パライ小学校新校舎
支援

CSR報告書の定期的発行

社内エコポイント制度

家庭・地域貢献活動

家庭での環境貢献活動
地域での環境貢献活動

End of File